

みんなで育てる志原っ子 ～地域の子どもは地域で育てる～

長崎県壱岐市		●活動名		●関係する学校名			
		志原っ子育成協議会		壱岐市立志原小学校			
協働活動開始年度	平成 23 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成30年6月4日設置	地域学校協働本部	有	地域の方々との大きな交流の場となる「志原っ子まつり」で、学習の成果を発表する「志原っ子まつり」の収穫した農作物を、地域の皆さんと一緒に食べた。	
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—				
統合的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	1人			
ボランティアの数	延べ登録人数 63人	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有		
参考URL	二						
●連絡先	壱岐市教育委員会 社会教育課		☎ 0920-45-1113				

●活動の概要・経緯
本校は、平成30年度壱岐市の指定を受けて学校運営協議会を設立し、コミュニティ・スクールとして3年目を迎える。それ以前には「宮の原会」という学校支援組織があり、長年地域の協力の下での教育活動を行ってきた歴史がある。小規模校である本校は、地区民合同運動会をはじめ、学校行事や地域行事の運営において協力・連携し合いながら、学校と地域双方の活性化等を図ってきた。学校運営協議会「志原っ子育成協議会」では、学校の課題や保護者・地域の願い等について、共に知恵を出し合い連携を図りながら、「志…夢…希望を持って、進んで努力する子ども」「学力…進んで学び、自分考えを伝え合う子ども」「人間力…相手の立場に立って物事を考え、思いやりの心を持つ子ども」の共有目標の実現、学校経営方針にも掲げた「児童・保護者・地域・教職員、みんなが自慢できる学校づくり」の実現に向け、日々邁進しているところである。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校行事への参画・協働…栽培体験活動、運動会及び志原っ子まつり(学習発表会・栽培物を使った調理)への参画・協働
- ②学校の環境づくり支援…校庭の伐採や剪定、草刈り等の支援、図書ボランティアによる学習環境づくり支援
- ③地域行事への参画・協働、地域貢献…運動会及び志原っ子まつりにおける地域内2つの太鼓保存会と連携した太鼓の披露、地域クリーン活動における子どもたちの参加による地域貢献
- ④児童の活動に対する様々な支援…図書ボランティアによる読み聞かせ、地域企業チームによる綱引きの指導、ボランティアによる調理や製作活動等の授業サポート、登下校時や校外活動時の見守り活動、安全マップを活用した危険区域の把握と改善

【実施に当たっての工夫】

学校運営協議会を定期的を開催(令和元年度7回)し、情報共有を図りながら必要な取組について熟議を重ねている。志原地区公民館長が地域コーディネーター役を担うことで、学校教育活動に最適な人材や活動団体等をコーディネートすることができる。学校・PTA・学校運営協議会が三位一体となることで、より実践的な取組ができるように努めている。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会において活動報告や検証等を行い、よりよい取組となるよう熟議を重ねている。学校運営協議会は、老人会等の地域団体の代表や社会体育(バレー・ソフトボール)の代表者も委員となっていることから、学校及び地域における教育活動全般についての「子どものよりよい成長」を共に考えることができる。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 「子どもの成長」を中心として、学校・家庭・地域が日常的に顔が見える関係で連携できており、一体感が深まっている。
- 地域の方々の協力・支援によって、児童の教育的効果が高まっている。また、地域の方々との関わりが増え、児童の地域への関心も高まり、地元への愛着・誇りも深まってきているように感じる。
- 地域学校協働活動を通じて、地域防災についても共に考えることができ、集中豪雨等の緊急時の人と車の流れを協議・確認することができた。学校、保護者、地域、児童が、それぞれの役割を果たせるよう、今後も地域を挙げての防災・安全について貢献していきたい。

● その他

地元企業(玄海酒造)の綱引きチームと連携し、技術指導を受けたことで、児童の競技力の向上につながり、市の綱引大会で好成績を収めた。また、発表の場の一つである志原っ子まつりにおいて、パソコンを利用したプレゼン資料を作成し、保護者や地域の方々に紹介した。



掘り出し、力を得ながら、楽しみながら、子どもたちの成長を支える、地域の方々との連携も協



ままが、地元の農協青年部の協力の下、脱穀